



〒299-2192

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

TEL0470-55-4804

発行/鋸南町議会 編集/議会広報特別委員会

きよなん

議会だより



新園舎第1回目の運動会（9月26日）

知っていますか？

議会の傍聴はどなたでもできます。

次の定例議会は12月です。

傍聴手続きは、当日議場受付で住所・氏名・年齢を書くだけです。日程は、広報無線や町のホームページ（11月下旬）でお知らせします。

はやわかり

- 都市交流施設整備基金条例 2
- 決算審査特別委員会 4
- 4議員が町政を問う 7
- 町民の声 金子さんに聞く 12

都市交流施設整備基金の

条例が制定される

9月
定例議会

9月定例議会は、会期を9月4日から11日間として開催した。
議案は議員発議案2件、町長提出議案として、条例関係7件、財産の取得1件、平成30年度一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、鋸南病院事業会計の4補正予算、計14議案を原案の通り可決した。
また、平成29年度決算については、決算審査特別委員会を設置、9月7日の審査を経て、普通会計・企業会計の2議案を可決認定した。
一般質問では、鈴木・三國・青木・緒方の4議員がそれぞれ質問席に立った。

議員発議案 2件

地方消費者行政の財政支援の継続・拡充を求める意見書

核兵器禁止条約の署名締結を求める意見書

議員発議による2議案を上程。全会一致で採択し、意見書を衆参両議長、総理大臣、担当大臣に提出した。

条例関係

鋸南町都市交流施設整備基金条例

町は、道の駅保田小学校（鋸南町都市交流施設）を開設当初から、㈱共立メンテナンスに指定管理させている。指定管理とは、施設自体は

町が所有者で、業者等に施設の管理を行わせる制度である。

両者の間では、基本協定及び年度協定が結ばれており、指定管理業務により発生した利益については、その4割を施設修繕積立金として積み立て、2割が利益分配金として町へ納入、残りの4割は施設従業員等に還元するとしている。

平成29年度の決算では、入居店舗からのテナント料や宿泊・直営施設等の売り上げ収入から人件費や光熱水費等の営業支出を差し引いた当期利益が1235万円となった。年度協定に従い、町への利益分配金247万円は既に

納入済。施設修繕分494万円を基金に積み立てて、今後の修繕等に充当するため、根拠となる条例を今定例会に上程、前回一致で可決した。

介護サービス関係 5件

介護事業に関連した条例の全部改正2件、新規制定3件を全会一致で可決した。

条例の内容は、町内で介護サービス等の提供をしようとする業者に対して、事業の運営に関して基準を定める条例2件、介護サービス等の実施計画の作成に関して基準を定める条例が2件。鋸南町地域包括支援センターの事業実施に関する基準等を定める条例1件。

教育関係 1件

鋸南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

放課後児童健全育成事業に従事できる者の資格に関して、法律に合わせて条例を改正。

財産の取得

◎水槽付き

消防ポンプ自動車1台

(第2分団に3月配備予定)

契約額 2143万8千円

契約先 ㈱野口ポンプ製作所



配備される同型消防ポンプ自動車

都市交流施設周辺用地取得に向け

測量費等予算計上

一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ1億1723万9千円を追加し、総額39億7519万4千円となった。

歳出の主な内容は、

総務費 都市交流施設駐車場用地取得に向けた測量及び不動産鑑定委託料242万8千円。

衛生費 家庭用小型合併処理浄化槽設置補助金135万円の増額。

土木費 リフォーム補助金10件分200万円の増額。トンネル（内宿地先）補修工事に側壁補強が追加されたため1150万円の増額、この財源として橋梁補修工事費及び設計委託料から同額が減額された。

教育費 指定寄付による小学校校庭遊具32万7千円、グラウンドピアノ運搬車

86万7千円、指定寄付による公民館図書10万円。

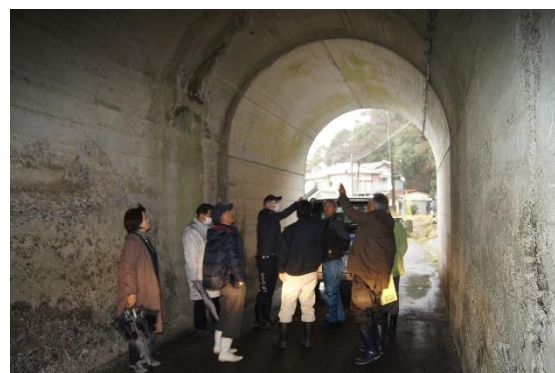
諸支出金 繰越金の2分の1にあたる1億153万1千円が財政調整基金に、都市交流施設整備基金には、前年度利益の10分の4にあたる494万円（前掲）が計上された。

歳入で増額されたものは、普通交付税の額確定により1億5147万9千円、指定寄付による110万円、介護保険会計決算が確定したことによる繰入金618万6千円、前年度繰越金の未計上分として1億306万円、過疎債等町債1029万8千円など。また財政調整基金からの取り崩しを1億607万6千円減らしたことから、補正後の基金残高は12億935万円となった。

国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ174万9千円を追加し、総額11億9,950万4千円となった。

補正の内容は国民健康保険システム改修業務委託等64万8千円、職員手当等48万3千円、療養給付費等交付金の確定による償還金61万8千円。



内宿トンネルの視察を行う産業常任委員

介護保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ8,299万6千円を追加し、総額13億1,084万3千円となった。

補正の内容は、29年度事業費確定による国・県・支払基金・町に合計6,622万円を返還し、1,677万7千円を財政調整基金に積み立てた。

鋸南病院事業会計補正予算

収益的支出343万9千円は台風による保田川河川災害復旧工事に伴う電柱一時撤去及びごみ置き場移設等。県からの補償費に伴う補正であり、補正後の収益的支出は8,589万1千円となった。

地方債残高（借金）は減少

査特別委員会報告～

平成29年度の各会計決算は、議会選出の監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（平島孝一郎委員長）で審査された。一般会計については、歳入総額は42億7,505万9千円で前年度比1.1%の減であった。歳出総額は40億4,350万9千円で前年度比2.4%の減となった。町税収納率は94.92%となり、前年度より0.79%の増となった。

主な事業としては、ダイニング佐久間小学校整備工事3,718万7千円、仁浜区青年館の改修工事助成金1,200万円、笑楽の湯機能アップ整備事業6,268万円、子育て広場改修工事2,423万5千円など。また町の借金である地方債の残高は、43億1,074千円で、前年に比べ9千万円ほど減少、逆に貯金にあたる財政調整基金は12億7,924千円で1億3千万円強の増となり、財政の健全化が着実に進む状況がうかがえる内容となった。

また、特別会計、企業会計についても審査を行い、採決を行った結果、平成29年度決算については全員賛成で認定すべきものと決定した。

一般会計決算の

主な質疑

【総務企画課】

問 行財政改革は、指針により平成29年度から31年度で取り組むことになっているが、平成29年度における成果は。

答 管理職手当の削減、加除図書の廃止、電力自由化に伴う電気料金の削減や、

保健福祉センターの窓口の見直し等利便性の向上を図りました。

問 他市町村に比べ、まちづくり寄付金の金額が少ないが、増やすためにどのような取り組みをしているのか。

答 返礼品率を4割から3割に変更したことで、ビワの申し込みが前年の半分、人気商品の取り止めもあり低調となりました。平成30年度は、新しい品目の追加を予定しています。

問 旧鋸南幼稚園跡地の利

活用をどう考えているか。

答 「廃校利用を核とした生涯活躍のまちづくり実施計画策定業務」によりアイデアは出ていますが、今年度は、域学連携事業での意見を参考に、他の利用方法も検討したい。都市交流施設に隣接しているので、地元の方が利用できる集客施設としての利用も考えています。また、事故等による責任問題から、残った遊具を利用した子供の遊び場としての開放は考えていません。

一般会計決算状況

項目	平成29年度	平成28年度
歳入総額	42億7,505万9千円	43億2,199万1千円
歳出総額	40億4,350万9千円	41億4,147万3千円
差引	2億3,155万円	1億8,051万8千円

財政調整基金（貯金）が増加 ～平成29年度決算審

【地域振興課】

問 現在の畜産業の状況からすると、畜産業への補助金が少ないように感じるが。

答 農家数が減っており大変苦しい状況にあります。施設設備や投資の面から新規就農者の参入が難しい状態にあります。今年度は、町酪農部から抜本的な酪農施策の実施要望も受けており、畜産農家、千葉県、町の間で協議も行っていきますが、対策に苦慮しているのが現状です。国の支援事業は、集落営農組織や共同施設に対するもので、個人に対する支援がないことから農家の意見を聞きながら、やれることから実施していきたい。

問 佐久間地区活性化推進協議会補助金の使途は。

答 国からの交付金の対象外となる部分に対し、町単独費用で支出したもので、毎月開催される協議会の会議費に充てられています。

要望 協議会は設立されて

から3年目、事業計画の間に当たるので、議員に対する中間報告の機会を設けて欲しい。

【税務住民課】

問 町税等の不納欠損したもののうち、個人での最高額は。

答 税金及び国保料合わせで188万7千円です。

要望 町税の不納欠損額は、収納額の1%を占めている。引き続き削減に努力してもらいたい。

【建設水道課】

問 不法投棄の現状と不法投棄監視員の活動は。

答 不法投棄監視員を町内8名の方に委嘱し、巡回監視を月2回程度実施しています。件数については平成28年度に9件、平成29年度は10件確認されており、ほぼ横ばいとなっています。また、環境監視指導員を2名雇用し、週2回程度、不法投棄の監視に限らず野焼き等の監視も行っています。

【教育課】

問 町民運動まつりは、まちづくりに大きな役割を果たすイベントであるが、これまでの成果や反省点はあるか。

答 一昨年は500人を超える参加者がありました。町民の約45%が65歳以上であることから、今年度は老人クラブにも実行委員に加わっていただき、幼児から高齢者まで楽しく参加でき、健康意識を高めてもらえるようなイベントになるように準備を進めています。

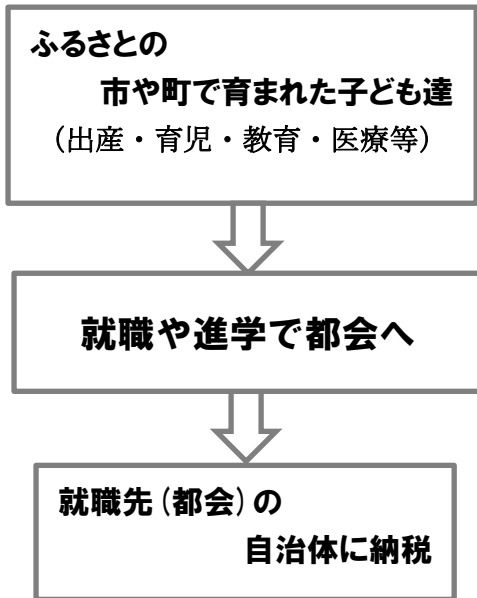


世代を超えて行われる町民運動まつり

特別会計及び企業会計決算状況

会計名	収入	支出
国民健康保険特別会計	15億2,360万2千円	14億2,752万4千円
後期高齢者医療特別会計	1億2,451万1千円	1億2,154万円
介護保険特別会計	13億5,366万1千円	12億7,198万3千円
病院事業会計（収益的収支）	5,409万8千円	8,748万9千円
水道事業会計（収益的収支）	5億3,257万7千円	4億6,400万1千円

ふるさとと納税に思う



**そもそも
なんのために作られた
制度なの？**

多くの人が地方で生まれ、その市や町から医療や教育など様々な住民サービスをを受けて育ち、やがて進学や就職を機に生活の場を都会に移し、そこで納税を行っています。その結果、都会の自治体は税収を得ますが、自分が生まれ育ったふるさとの自治体には税収が入りません。

**過度な現況への
国の指導**

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設されました。

現在、国は寄付金に対する返礼品の見直しを各自治体に要請しているところですので。

返礼品の価格が寄付金の

「今は都会に住んでいても、自分を育てくれた『ふるさと』に、自分の意思で、いくらかでも応援できる制度があっても良いのではないかな
そんなことから生まれた制度です。」

**「豊かさをまっとうけり
寄付金」として取り組む
鋸南町**

3割を超えていたり、地元産以外の品物を扱っていたりすることは対象外としています。寄付を受けた自治体が過度な返礼品を購入するために出費することは健全とは言えません。

29年度は508件1078万1千円の収入がありました。

我が鋸南町への寄付金は多くはありませんし、返礼品の品数や魅力も今一つの声も聞かれます。原点に戻り、「ふるさと鋸南」に共感してもらえような返礼品の開発を官民一体となって推進して行く必要があります。



ここが聞きたい いっぱん質問



鈴木 辰也 議員
・町防災対策について



三国 幸次 議員
・小中学校の普通教室への
エアコン設置について



青木 悦子 議員
・ふるさと学習の拡充について
・住宅供給対策について



緒方 猛 議員
・人口減対策の見える化について
・高齢者安否確認について 他2件

4議員が町政を問う

議会中継の録画配信も
始めました！



一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長
に対し質問や提案を行うものです。
紙面の都合上概要を掲載しています。

三国 幸次 議員



問 普通教室にエアコン設置を

答 来年夏を目標に努力

質問 記録的な猛暑が続いたことを受けて、政府は全国の公立小中学校にエアコンを整備するため、秋の臨時国会に追加的な対策費を盛りこんだ補正予算案を提出する方針を固めた。小中学校のエアコン設置の状況は。

答弁 保育園、幼稚園では、廊下、トイレ、倉庫以外の部屋にエアコンを設置しました。幼稚園一時預かりの教室や学童保育所にもエアコンが設置されています。

小学校は、管理特別教室棟の理科室を除き、特別教室及び職員室、会議室に設置されています。

中学校では、コンピュータ室、図書室、保健室、事務室、職員室、校長室、音楽室、L教室、視聴覚室、会議室に

エアコンが設置されています。

ただし、小中学校とも、普通教室、体育館については、エアコンは未設置となっております。

質問 地域によってばらつきがあるが、政府は来年夏までに整備を目指している。来年以降も夏の猛暑が続くことは否定できず「補助の在り方も含めて見直すことも検討する」としている。この猛暑が続いている中で、学校などでは猛暑時の熱中症対策について、どのように生徒の安全を守るかとの視点に立った話し合いがなされているのかどうか、各学校での状況はどうか。

答弁 児童生徒の安全第一が最大目標です。中学校にお

いては、土曜日に体育祭が実施予定のため、早速、昨日から本格的な練習が始まっています。細部にわたって注意を払うのはもちろんのことですが、メインである団体種目の練習、組体操や、騎馬戦など、特に大がかりなものは、注意散漫になると怪我につながるりますので、こまめに給水するなどの指導を行うよう現場に指示を出しました。

また、小学校においても、授業中、あるいは放課後の練習において、更には10月3日に陸上大会が予定されており、9月6日から練習に入る予定になっていますので、適切な状況判断を行い、こまめな給水を行う等の指導をするよう指示を出しました。

両校長もその内容を十分理解のうえ指導している状況です。

質問 来年の夏までに小中学校の普通教室へ、エアコンを設置する必要があると考えるがどうか。

答弁 国の支援を受け、国の動向を見ながら、来年夏までの設置に向けて最善の努力をします。



鋸南幼稚園全室で冷房完備

青木 悦子 議員



問 子ども議会の継続とふるさと学習の拡充を

答 継続に向け検討、小中連携強化を推進

質問 子どもが一人の町民として、町について学習し、

まちづくりの視点に立ち意見、提案を行った「子ども議会」は主権者教育という側面から大きな意味があった。また「ふるさと学習」としても、

町の将来を担うであろう子ども達の郷土愛の醸成にも一役かつたものと確信している。子ども達から有効と思える提案があったが、具体化する考えは。

答弁 行政が進めている施策に一致しているものが多く、大人同様の視点で課題を捉えていることに感心しました。子ども達の提案については、今後の政策の参考として、町の宝であり、町の将来を担う人材の育成に推進したいと考えます。

質問 「子ども議会」は今後も継続すべきと考えるが。

答弁 学校現場に無理をかけることを念頭において話し合い、前向きに検討したいと考えます。

質問 郷土愛の醸成のために「ふるさと学習」が重要と思うが、小中一貫した「きょうなん学習」のようなカリキュラムの編成はできないか。

答弁 現在、教育施策の中で地域に対する魅力や課題を自ら発見できる学習として、地域学習を計画的に実施しています。更に小学1年生から中学3年生まで一貫性を持たせることで、より充実した「ふるさと学習」ができると考えますので、今後も小中学校の連携について更に強化・推進していきます。

【移住定住希望者、若者、子育て世代への住宅供給対策を】

住宅供給対策を

質問 町では現在、空き家バンク制度等で空き家情報を提供しているが、登録件数を増やし、移住検討者に、よりアピールするための方策を何か考えているか。

答弁 全国空き家バンクへの登録等を実施しています。が、移住検討者に向けては、住む場所や働く場所の情報、暮らしに関する情報提供等、複合的な対策、支援が必要と考えます。

鋸南町に移住定住してもらえるように、行政からの情報発信にとどまらず、「地域おこし協力隊」の方々にSNS等を利用した情報発信を

依頼する等、積極的にPR活動を行っていきます。

質問 若者・子育て世代向けに町営の賃貸住宅や集合住宅の整備の考えはあるか。

答弁 本町ではまとまった土地がなく、集合住宅を整備することは大変難しい状況です。現在、町有地や遊休土地などを利用して宅地整備ができないか模索しているところです。

要望 他の市町村の事例等を参考に、鋸南町に住みたいという若者や子育て世代に対し、即対応できる住宅環境を早期に整備されたい。



緊張した趣きで質問する鋸南小6年生

議員 猛方 緒



問 人口減少対策業務の見える化は その他3件

答 検証評価しホームページに掲載

【人口減対策】

質問 人口減少はその自治体の総合評価だ。平成27年国勢調査で減少率は10%を超え県下最大。20～30代の女性はそれ以上減少。地域・社会・経済の衰退が一層進む。人口減対策業務の見える化を要請だが実績は。

答弁 平成32年までの総合戦略で人口減少対策を実施した結果を今年3月の効果検証会議で評価しホームページに掲載しています。今後にも過疎脱却の取り組みを町民に見える化を行います。

質問 ホームページでは、移住定住推進のワンストップ窓口の相談数や雇用数また、空き家を活用の企業誘致も全て実績ゼロ。改善課題に対する取り組みも不明。効果検証

証会議では「情報の内容を増やし、スピード感を持って事業推進を」との意見だった。資料の再提出を望む。

答弁 ホームページには地方創生事業で、数字が載っていない部分も確かにあります。今後、ホームページの掲載内容については、検討していきます。

【緊急通報システム】

質問 6年前の提案。安心が得られる良いシステムと思う。急病、火災難を逃れた実績もあるが機種により登録の電話連絡止まりがあり要注意。高齢の一人暮らし960人で加入者45人は少ない。

月のリース代が自己負担で標準機種では約3500円と高い。例えば御宿町では240人加入で全額町負担、鋸

南も町負担にできないか。

答弁 現在3機種を採用し月のリース代が410円を45人中31人が選択。当システムは大きな安心感を得るもので、利用料は受益者負担としています。今後の地域情勢の推移を見て検討します。

【空き家バンク】

質問 2年半前の提案。売却・賃貸の申し出、利用登録者、成約実績は、また倒壊の恐れのある物件の撤去実績は。近隣市では最近の4年間で成約が約100件の自治体もある。

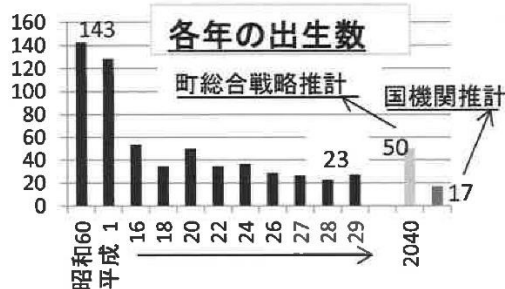
答弁 空き家は730軒、売却・賃貸の申し出は5件、成約2件です。撤去実行のため空き家等対策協議会の設置等取り組んでいます。今まで

指導12件中6件が改修や解体を行っています。

【ラスパイルズ指数】

質問 国家公務員を100としたときの地方公務員の給与水準で当町は101.3で県下16番目、近隣市中最も高く違和感を感じる。

答弁 同一の基準で数値化、職員数の少なさが数値に影響の場合も、今後適正な運用に努めていきます。





金子 潤さん

生粋の鋸南町っ子。
救急救命士の資格を取得し
現在は安房郡市消防本部館
山消防署に勤務。
22歳で結婚し、夫婦共働き、
4人の子どものお父さん。
仕事と子育てに奮闘中！

子育て世代の思い

自分は、子どもの頃からお祭りが大好きで、毎年参加し楽しませてもらってきました。今は少しでも祭りを盛り上げられればと考えようになり、ましてや自分の子ども達が参加するともなれば、子ども達には安全に楽しんでもらいたいとの気持ちを強くする今日この頃です。

休みの日には子供たちと遊ぶよう心掛けていますが、町には公園など安心して遊べる広い場所がなく、SNSなどで友人家族とお薦めの場所を共有し、一緒に館山や君津の公園、アスレチックなどに出かけることもしばしば。鋸南町にも親子で楽しめる場所があれば町外からも多くの親子連れが集まると思います。自分が親子で楽しめる場所があればと思うのは当然ですが、夫婦共働きの身、孫の子守をしてくれるいいじやばあばがどんなに助かるか。

鋸南町が子育てしやすい町をめざしているのであれば、豊かな自然を生かした、そして必要としている人のニーズにあった整備が必要だと思います。若い世代が町に魅力を感じる政策をぜひ議員の皆さんにお願いしたい。

議会の日誌

8月21日 議員全員協議会
8月28日 議会運営委員会
9月4日～14日
第5回議会定例会

9月7日 決算審査特別委員会
9月26日 議会広報特別委員会
10月4日 議会広報特別委員会協議会

編集後記

「備えあれば憂いなし」とは言いますが、備えがあっても避けようがないという規模の悲惨な災害が各地で頻発しています。

自然災害にいつ襲われるかは予知できません。日頃からの備えはやはり大切。非常用の持ち出し用品も勿論大事。ですが命だけは助かるというのが基本だと思えます。被害拡大を防ぐのに大変役立つのが地域のコミュニティという事です。自助・近助・共助・公助と言われていますが、災害時に突然の助け合いができるわけではありません。いざという時には日頃からのコミュニケーションを言うのではないのでしょうか。防災訓練や総合検診、健康まつりなどの行事への誘い合いなども近助・共助です。「一声かけて誘い合い」が災害から命を守ることにつながると考えます。

(青木)

～休日議場見学会～

町民の方なら誰でも参加できます！
普段入場できない議場や会議室の見学をしませんか？議会の仕組みや議事内容についても分かり易く説明します。

- ◆日時 平成30年11月11日(日)
午前10時から午後3時まで
所要時間30分程度
- ◆場所 鋸南町役場2階議場
- ◆応募要件 町民の方(年齢制限はありません)
- ◆応募方法 参加人数と来場時間を議会事務局まで連絡ください。☎55-4804
- ◆申込締切 11月7日(水)